

■2020 年度第 2 回自然エネルギー信州ネット運営会議 議事録

(文責：浅輪剛博)

●12月29日(火) 13:30～15:30 zoom ミーティング

出席者：理事（小野、合原、菅沼、茅野、平島）

長野県（平林さん、杉本さん）、会員：4名 事務局 浅輪

理事6名中5名（1名委任のうえ、第3議案より出席）参加。理事過半数の出席で運営会議成立。

●議題：

- (1) 会員規定 学生会員の新設など
- (2) 専門部会の相談窓口の設定など
- (3) 各地域でのゼロカーボン計画作成への支援
- (4) 今後の一般／専門セミナーの内容への要望
- (5) その他、報告、情報交換

●各議題の説明（1）学生会員 の新設

最近、白馬高校を始め、中高、大学と SDGs 教育もあるのか、関心が高まっていると思います。

そこで、学生会員の新設をしたらどうかと思います。

例えば、

●準会員に準じた資格をもつが、無料で良い。

●アルバイトやボランティアでの参加を積極的に希望する。など。

規約の改正が必要なので、実行は次年度の総会でも良いです。ひとまずは情報会員を呼びかける？

【質疑、決定事項】

⇒「学生会員」の新設は総会議決事項になるので（規約の改変）、来年度に実行予定。

⇒ユース会員枠として、

- 1) 情報会員で、ユース枠を作る。
- 2) 専門部会に似せて、ユース部会／ネットワークをメーリスか slack、LINE グループなどで作り、交流、情報交換、地域と専門を超えた交流を進めたい。
- 3) ユースの新しい視点、と、現会員の蓄積された経験を混ぜ合わせて、成功例をどんどんつくっていききたい。

●各議題の説明（2）専門部会

●HP 見直し。

それぞれの専門部会の内容が発足当時のままなので、書き換えを進めます。

【質疑、決定事項】

⇒現在の部会員に公表を確認して、アップデートする

⇒良くある質問（FAQ）を専門サイトに載せたらどうか。PDF、リンク、動画

●議題の説明：専門部会 ヘルプ窓口

いろんな問い合わせが来た時に、専門部会に問い合わせる順番として次はどうか。

①まず最初にアドバイスを求める「研究者や公的機関、NPO などの枠」

②そして、実際にプロジェクトが立ち上がる時に技術的な側面も含め頼れる「企業・金融機関

などの枠」

③さらに個人や学生などで専門的知識を伸ばしていきたい人のための枠。

【質疑、決定事項】

⇒事務局に質問が来て、即答できない場合は、役員 ML に投げて、必要な知識や専門家を紹介いただく。

⇒再エネの技術的などところだけでなく、法律、会計などの知識も必要。司法書士、弁護士、会計士。

⇒小水力などの実行を思いついたときに、基礎的な知識を習得できる場として、上記 HP の FAQ を活用する。

⇒ミニセミナーの動画、PDF 資料などを集積して HP に継続的に掲載する。周知する。

●各議題の説明（3）各地域でのゼロカーボン計画作成への支援

- ・信州ネットユース会員
- ・自然エネルギー大学受講者
- ・信州ネットオンラインセミナー など受講者

↓

・地域・分野の特定で、信州ネット・専門部会や地域協議会のサポートを得ながら、各地域で自立していくプロジェクト立ち上げ

というような流れが出来ていくといいのではないかと思います。

まず基本はセミナーや見学会の開催で、

実務になったら、信州ネットや専門部会（+人材バンクをより実務的にしたもの）がサポートする、という体制です。

【質疑、決定事項】

⇒各自治体がゼロカーボン計画（地球温暖化防止実行計画など）を策定、改訂するときのモデルを作る。

⇒信州ネットの会員（個人／団体）、そして行政会員が、温暖化対策計画を作るときのガイドライン、マニュアル、ミニセミナー、ワークショップなどを行う。

⇒こういう順番で作っていきませんか、という小さなペーパーも連続して出していく。

⇒計画策定への住民参加の方法、パブコメの書き方。などのレクチャー。

⇒地域エネルギーマネジメントシステム。全体最適像を考える。

⇒まずは、現在の自治体の計画を読み解こう、の会。

⇒自治体での継続的な計画作成／実行をサポートする（担当が変わっても）信州ネット会員を増やす。

⇒現在の各自治体の作成状況を、長野県とも一緒に調べる。

●各議題の説明（4）今後の希望するオンラインセミナー、見学会など聞き取り。

【現状案の説明】要望が多い内容を優先的に行っている。

=====

トークセッション・シリーズ「長野県気候危機突破方針を読み解く」

総論

- 「長野県気候危機突破方針を読み解く」＊2020年6月20日実施

講師：田中信一郎さん（千葉商科大学）

講師：茅野恒秀さん（信州大学）

1. 持続可能なまちづくり

- 「持続可能な森林」 ※2020年8月22日、8月29日、9月2日連続開催
講師：池田憲昭さん（ドイツ・Arch Joint Vision 社代表）
- 「持続可能な農村」
講師予定：石田信隆さん（一橋大学）2月下旬か。
- 「持続可能な街なか」 ※2020年10月19日開催。
講師：村上敦さん（ドイツ・環境ジャーナリスト）

2. エネルギーシェア

- 「エネルギーを地域でシェアする社会インフラ（1）熱供給」
- 「エネルギーを地域でシェアする社会インフラ（2）交通・運輸」
- 「エネルギーを地域でシェアする社会インフラ（3）産業とイノベーション」
講師予定：RE Action について 3月上旬か。
- 「エネルギーを地域でシェアする社会インフラ（4）地域新電力とエネルギー融通」
講師予定：稲垣憲治さん（京都大学／ローカルグッド）3月上旬

3. 省エネルギー

- 「産業の省エネルギーポテンシャル」
- 「住宅・建築のパスシブでサステナブルで快適なあり方」

4. 創エネルギー

- 「屋根ソーラー100%を目指して。太陽光のあるべき姿」 ※2020年10月24日開催
講師：櫻井啓一郎さん（産業総合研究所）
- 「熱をどうサステナブルに得るか？」
- 「地域が支える小水力利用」
（その他、企画中）

=====

【質疑、決定事項】

- ⇒ 事業者向けのセミナー（太陽光の自家使用など）も欲しい。
- ⇒ 全体概要のセミナーは、繰り返し、現状の進捗状況なども合わせ、連続して行いたい。
- ⇒ ミニセミナー、ミニプレゼン、など10分でもいいので、数多くやるといいのではないか。
- ⇒ 県民が個人として何を行うのが優先か、というセミナーもあるといい。
- ⇒ 中小企業向けに、RE Action のセミナーも実施する予定。
- ⇒ PV に関して、県の共同購入のキャンペーンもあり、セミナーや動画作成、特設サイトなどを作る。

● 各議題の説明（5）その他。

計画実施状況、や、会計などは、事前に資料配布で当日は質疑。

⇒ コロナでの計画変更もあるが、概ね予定通り、進んでいる。

【補足】

zoom チャット記録より

CHINO Tsunehide : 現在 5 つの部会が組織されています。太陽光、小水力、バイオマス、グリーン熱、政策調査の 5 部会です。

開始 **CHINO Tsunehide** : 一方で、エネルギー源ごとの部会ではなく、プロジェクトチームをつかって動いていくことを基本スタイルとすることに、2016 年ころからシフトさせています。

長野県ゼロカーボン推進室 平林 : 環境省は各自治体レベルで目標設定を促す動きです。

そのためのシナリオ案を提示できるよう検討しているところです。自治体が作りやすいようにゼロカーボン推進室 杉本 :

<https://www.yomiuri.co.jp/national/20201220-OYT1T50268/>

長野県ゼロカーボン推進室 平林 : 県内自治体の策定状況、県でデータあります。作ってないところ、期限切れのところもあり。

長野県ゼロカーボン推進室 平林 : 県で啓発用の動画つくります。

啓発セミナーも 3 月にやりたいです。

: 諏訪の企業ですと技術開発にもつながれば、ビジネスにもつながるし。

開始 長野県ゼロカーボン推進室 平林 : 県では、条例の制定を受けて、県民の方への行動計画も検討しています。

平島 安人 : 12/22 の専門委員会の議論はよい議論だったので、あの内容を簡潔に伝えることができる、関心のある人にとっては有用だと思います。

: あの議論を聞くと、何が課題となっているのか、よくわかりました。

ゼロカーボン推進室 杉本 : 専門委員会の様子です

ゼロカーボン推進室 杉本 :

<https://www.pref.nagano.lg.jp/kankyo/keikaku/4jisenryaku/ondanka4kai.html>

: <https://youtu.be/MrCjP8kkl8k>

長野県ゼロカーボン推進室 平林 : パブコメは 3 月下旬ごろの予定です。

: 各部署が関係団体にヒアリングします

長野県ゼロカーボン推進室 平林 : 2 月上田、南信州は知事です。

: 1 月末は SDG s フォーラムです。藤川さん、菅沼社長が出るイベント。

(自然エネルギー信州ネット規約より)

第 8 条 (組織運営)

②【運営会議】運営会議は、会長が招集し、理事の過半数により成立する。運営会議の議事は理事の互選により選任された議長が執り行う。運営会議では、年次計画の執行、専門部会の設置、予算執行、会長・監事の推薦等に係る協議を行う。会員は運営会議に出席して発言できる。運営会議における意思決定は理事の過半数により行なうが、少数意見を最大限尊重し、会員の総意となるように努力しあう。

I 2020年度の活動方針

「計画する」「伝える」「育てる」をモットーに成果の出る活動を、効率的に行う。

- 1) コアセミナーを県内3カ所で開催(世界的、全国的な流れを中心に。最新情報を総合的に得る)
- 2) プロジェクト実行力を上げる。専門部会や自治体、地元との連携。
- 3) 重点地域への立ち上げサポート
- 4) 県や市町村との協働事業

資料3-1

II 活動計画

大項目	内容	施策	担当	本年度 活動概要	活動報告
1 プロジェクト	信州ネットのプロジェクトチーム	事業立ち上げ、関心グループによる活動など			
1) コアセミナー	1a) 「信州自然エネルギー白書」事業	・印刷・配布・報告交流会 ・調査事業	茅野	長野県 突破方針の分析、プロジェクト化、??	
	1b) コアセミナー「気候危機突破」地域会議	「海外でのエネルギーシフト」や環境省の「環境共生循環圏」など、の包括的なセミナー	(茅野、合原)	総論 ●「長野県気候危機突破方針を読み解く」※6月20日実施 講師：田中信一郎さん(千葉商科大学) 講師：茅野恒秀さん(信州大学) 【講師候補】 田中信一郎さん(千葉商科大学) ※実施 茅野恒秀さん(信州大学) ※実施 飯田哲也さん(環境エネルギー政策研究所) 高村かおりさん(東京大学)	●「長野県気候危機突破方針を読み解く」※6月20日実施 講師：田中 信一郎さん(千葉商科大学) 講師：茅野恒秀さん(信州大学) →Youtubeにアップ
	1c) ウェブセミナー「気候危機突破」	長野県の気候危機突破方針に関して、内容理解と具体化をウェブ会議で探る。→4d) PJと同じ		2. エネルギーシェア ●「エネルギーを地域でシェアする社会インフラ (1) 熱供給」 ●「エネルギーを地域でシェアする社会インフラ (2) 交通・運輸」 ●「エネルギーを地域でシェアする社会インフラ (3) 産業とイノベーション」 ●「エネルギーを地域でシェアする社会インフラ (4) 地域新電力とエネルギー融通」 【講師候補】 熱供給：松原弘直さん(環境エネルギー政策研究所) 田中いずみさん(デンマーク大使館) 交通・運輸(モビリティ)：谷口綾子さん(筑波大学) ? http://www.gpnw.jp/?tid=100019 環境イノベーション：河口真理子さん(立教大学) 地域調和/セクターカップリング：西村賢祐さん(ドイツ)	(3) 産業は、グリーン購入ネットワークと、3月に開催予定。 (4) 新電力は、稲垣憲治さんで、3月上旬に開催予定。
2) 専門分野ごとにセミナーが視察	2a) 太陽光O&M(信州ソーラーパートナー)の認定事業	認定の基準や体制を構築し、認定を開始する。 松本地域の野立てPVの保守状況の調査	茅野、合原、小野、菅沼		松本地域のすべてのPVを確認中
	2b) ソーラーシェアリング支援事業	長野県内でソーラーシェアリング事業を営農中心で行うことを支援する。	合原		問合せに対して、アドバイザー事業を継続中。
	2c) 省エネプロジェクト	4d) と連携して、「健康エコ建築」を拡大する。	高木	3. 省エネルギー ●「産業の省エネルギーポテンシャル」 ●「住宅・建築のバッシブでサステナブルで快適なあり方」 【講師候補】 産業：歌川学さん(産総研) 住宅建築：竹内昌義さん(エネルギーまちづくり社) 高木直樹さん(信州大学)	9/19-20白馬高校の断熱改修を支援した。計測、比較などの結果報告も支援中。
	2d) 屋根ソーラー拡大プロジェクト	4d) の再エネ普及PJの個別PJの「全ての屋根にソーラー」と連携	合原、小野、菅沼	設置の課題事例を洗い出し、解決策を提案する。6月中にブックレットを作成	9月にチラシを作成。HPを作成。 http://www.shin-ene.net/pv セミナー ●「屋根ソーラー100%を目指して。太陽光のあるべき姿」※10月24日開催 講師：櫻井啓一郎さん(産業総合研究所) →項目ごとにYoutubeにアップ

3) 重点地域 への立ち上げ サポート	2e)エネルギーまちづくりプロジェクト	コンパクトシティ、地域熱供給網、交通シエアリング、断熱集合建築など 社会インフラの変革	(浅輪)	<p>1. 持続可能なまちづくり</p> <p>豊かな自然と、実り豊かな農山村、賑わいのある街なか、それを次の世代に引き継ぐ。</p> <p>気候危機突破プロジェクト「脱炭素まちづくり」につなげます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「持続可能な森林」 ※ 8月22日、8月29日、9月2日連続開催 講師：池田憲昭さん（ドイツ・Arch Joint Vision 社代表） ●「持続可能な農村」 ●「持続可能な街なか」 ※ 10月19日開催。 講師：村上敦さん（ドイツ・環境ジャーナリスト） <p>【講師候補】</p> <p>森林：池田憲昭さん（ドイツ）※参加了承、 植木達人さん（信州大学） 農村：石田信隆さん（一橋大学） まちづくり：諸富徹さん（京都大学） 村上敦さん（ドイツ） 10月19日（月） 佐無田光さん（金沢大学）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●「持続可能な森林」※ 8月22日、8月29日、9月2日連続開催 講師：池田憲昭さん(ドイツ・Arch Joint Vision社代表) ●「持続可能な街なか」※ 10月19日開催。 講師：村上敦さん(ドイツ・環境ジャーナリスト) <p>→内容の要旨をアップ予定。</p>
	3a)事業化支援事業（鬼無里）	・鬼無里「あるをつくる」事業化支援 地域で薪を集める仕組みづくり	(茅野)		廃校を使ったイベントや里山事業、シェアオフィスなど実践中。
	3b)白馬でのSDGs リゾート 連携協 カプロジェクト	(1) 白馬村、近隣の市町村および長野県の担当者と一緒に、自治体の計画、実行成果、見直し、などを一緒に行う住民ワークショップを3回以上、開催。 (2) すぐに実行しやすい省エネ・シェア事業のアイデア出しを行い、アクションを開始。ワークショップで優先順位をつけたものを各地域1つ以上、実行。	高木 (浅輪)	<p>住民ワークショップを各回30人以上の参加で3回ずつ行います。</p> <p>各地域で50以上のアイデア出しを行い、自主的に工夫して実行する能力を高めることができます。</p> <p>省エネ事業は、僅かな効果でも数多くの住民がすぐ始められるものを選び出し、まち全体での実施例を増やし、温暖化対策効果を高めます。</p> <p>学校断熱DIYプロジェクト</p> <p>まちで一番古い冷蔵庫コンテスト（省エネ家電の普及キャンペーンとしての話題）</p> <p>学校教室や古民家の断熱改修DIYプロジェクト、 自転車のシェアやサイクリングロードマップづくりなど、</p>	9月19-22日 白馬高校断熱プロジェクト スキー場でのカーブール取り組み。 Hakuba Valley DMOでのSDGs取り組み。
	3c)松本でのSDGs ワークショップ	(1) 松本市、近隣の市町村および長野県の担当者と一緒に、自治体の計画、実行成果、見直し、などを一緒に行う住民ワークショップを3回以上、開催。 (2) すぐに実行しやすい省エネ・シェア事業のアイデア出しを行い、アクションを開始。ワークショップで優先順位をつけたものを各地域1つ以上、実行。	平島、 茅野	<p>住民ワークショップを各回30人以上の参加で3回ずつ行います。</p> <p>各地域で50以上のアイデア出しを行い、自主的に工夫して実行する能力を高めることができます。</p> <p>省エネ事業は、僅かな効果でも数多くの住民がすぐ始められるものを選び出し、まち全体での実施例を増やし、温暖化対策効果を高めます。</p> <p>学校断熱DIYプロジェクト</p> <p>まちで一番古い冷蔵庫コンテスト（省エネ家電の普及キャンペーンとしての話題）</p> <p>学校教室や古民家の断熱改修DIYプロジェクト、 自転車のシェアやサイクリングロードマップづくりなど、</p>	11月7日 地球の道と四賀の道 開催(40名ほど参加) 四賀の里、ゼロカーボン里づくり計画中
3d)小谷プロジ ェクト	・小水力発電のリブレース。 ・地中熱利用の検討事業。 ・断熱DIY改修ワークショップ	高木 (浅輪)	提案書を持って、検討に入る。事業計画見極め。資金調達の方法など。	<p>プロジェクト可能性を検討</p> <p>1)まず、モデル例として岡山県の西栗倉村のご紹介。 小谷村と地形や条件、人口などが似ているところで(スキー場もある)、水力と木材を中心とした村づくりhttp://www.vill.nishiwakura.okayama.jp</p> <p>2)再エネの提案:小水力、チップボイラーなどの可能性。</p> <p>4)既存住宅の改築などに木材を使ったり、断熱材施工をしったりすることなど。</p>	
4) 県や市町 村との協働事 業	4a)「自然エネ ルギー産業クラ スター」形成の研 究	長野県の研究会に継続参加。 海外国内の事例の研究。専門家との連携。	平島		(RE Action に関してプロジェクト検討中)
	4b)市民共同発電 全国フォーラム実 行委員	千葉にて12回目の開催。団体として実行 委員に参加。	(浅輪)		本年度は中止。
	4c)県林務部 薪 ・ペレット スト ープ 普及啓発事 業（未定）	・啓発イベントの開催 ・紹介ブックレットの作成 ・安曇野の薪ストーブ使用状況報告会	(浅輪)	本年度の実行はまだ未定。	本年度は中止。
	4d)気候危機突破 プロジェクト連携	・コンパクト+ネットワークまちづくり ・地域と調和した再エネ普及拡大 ・健康エコ住宅普及促進 ・ゼロカーボンビル化促進 ・SDGs&ESG投資促進 ・ゼロカーボン実現新技術等促進 ・世界標準のRE100リゾート	茅野	<p>各プロジェクト 1つずつ、ウェビナーを開く。</p> <p>4. 創エネルギー</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「屋根ソーラー100%を目指して。太陽光のあるべき姿」※ 10月24日開催 講師：櫻井啓一郎さん（産業総合研究所） ●「熱をどうサステナブルに得るか？」 ●「地域が支える小水力利用」 (その他、企画中) <p>【講師候補】</p> <p>太陽光：櫻井啓一郎さん（産総研）※参加了承 熱利用：??中田俊彦さん（東北大学）? 水力：飯尾昭一郎さん（信州大学）</p>	オンラインセミナーを連続で実施中。

1) コアセミナー	(新規プロジェクト立ち上げ)	プロジェクトチーム提案に対する支援・協力	・事業化支援を行う人材(会員)のチームアップ 広報支援、専門部会による支援、事業化支援 プロジェクトによる支援など。専門部会と共同して実施			各専門部会の問い合わせ窓口、ヘルプデスクなどの新設を行えれば。
	1c) 人材育成事業	独自の人材育成事業の立ち上げ 「計画する」「伝える」「育てる」		各PJへの参加者を募る、パワーアップミーティングの開催? 飯田自然エネルギー大学との連携?		パワーアップミーティングを11月29日に実施。塩尻会場&オンラインで。小谷プロジェクトの例、および、3種類の新規プロジェクト提案があった。
2	SUWACO Labo、長野県との協定事業	SUWACO Labo 事業成果報告ならびに情報発信業務 自然エネルギー普及活動 (一般の人に親しみを持ってもらふ活動)	信州自然エネルギーマルシェ 9月26日(土) 諏訪市文化センターは予約済み。 ただし、より、自然エネルギー普及に効果のある形もあるか、検討中。 ・事業成果発表会の開催 ・事業報告 分析データの情報公開、情報発信 ・自然エネルギー普及イベント等の開催(年3回) ・地域協議会等、各種イベントへの参加・支援 ・上記の事業を行うための事務局の維持	平島		感染予防、並びに、波及効果を検証して、より即効力のある取り組みも必要か? 10月24日に茅野で屋根ソーラーオンラインセミナー実施。オンライン中継あり。 現在、テーマごとの編集動画をアップ中。
3	地域協議会との連携強化	活動成果を他地域に波及させる 地域協議会との連携強化	SUWACO Labo事業などにて交流会を行う。ウェブ交流会?			コロナ禍もあり、各地域での予定通りの実施が難しい状況。 各地域の要望に応じて、資料などの共有。
	専門部会活動	5専門部会により、専門性のあるテーマを設定し、会員への	各専門部会が策定する活動計画による			
	2) 専門分野ごとにプロジェクト支援	・太陽光部会	PJ: 2a)、2b) のサポート	中村 嘉寿良氏		
		・小水力部会	PJ: 3d) のサポート	丸山 幹夫氏		
	専門性の向上事業	・バイオマス部会	PJ: 3c)、4c) 県林務部 などのサポート	田中守氏		
	事業拡大	・グリーン熱部会	地域熱供給の研究?	中村 嘉寿良氏		
		・政策調査部会	PJ: 1) のサポート	平島		

【地域協議会】

自然エネルギー長野北信地域協議会
 自然エネルギー上小ネット
 自然エネルギーネットまつもと
 自然エネルギー佐久地域協議会
 自然エネルギー信州ネットSUWA
 上伊那自然エネルギー普及協議会
 自然エネルギー木曾地域協議会
 南信州自然エネルギー普及協議会

		2020年度						
<収入の部>		全事業			月次推移	月次推移	月次推移	月次推移
		予算	予算	予算	月次推移	2020年度	2020年度	2020年度
		合計	(前年度)	(差額)	今後見込	合計	予算との差額	前年との差額
公益収入	科目							
	会費(企業)	310,000	310,000	0		270,000	-40,000	-40,000
	会費(NPO)	90,000	90,000	0		78,000	-12,000	-12,000
	会費(個人)	162,000	162,000	0		139,000	-23,000	-23,000
	会費(準)	51,000	51,000	0		69,000	18,000	18,000
	会費(賛助)					20,000	20,000	20,000
	会費(合計)	613,000	613,000	0		576,000	-37,000	-37,000
	受取補助金	25,000	251,800	-226,800		0	-25,000	-251,800
	受取寄付金	0	200,010	-200,010		0	0	-200,010
	受取協賛金	20,000	50,000	-30,000		0	-20,000	-50,000
		0	0	0		0	0	0
収益収入	受託事業収入	2,663,000	2,543,000	120,000	2,286,000	2,286,000	-377,000	-257,000
	印刷役務収入	13,450	13,450	0		7,200	-6,250	-6,250
	売上	30,000	0	30,000		176,812	146,812	176,812
	雑収入	2,000	2,000	0		0	-2,000	-2,000
	受取利息	15	15	0		0	-15	-15
						0	0	0
	計	3,366,465	3,673,275	-306,810	2,286,000	3,046,012	-320,453	-627,263

		2020年度						
<支出の部>		全事業			今後見込	2020年度	2020年度	2020年度
		合計	(前年度)	(差額)	今後見込	合計	予算との差額	前年との差額
人件費	科目							
	役員報酬	0	0	0		0	0	0
	給料	0	0	0		0	0	0
	アルバイト代	43,500	43,500	0	200,000	200,000	156,500	156,500
	法定福利費	0	0	0		0	0	0
活動費	諸謝金	57,000	57,000	0	60,000	75,174	18,174	18,174
	旅費交通費	73,630	90,330	-16,700		44,585	-29,045	-45,745
	委託費	1,898,548	1,875,548	23,000	250,000	1,942,000	43,452	66,452
	会場費	66,770	61,670	5,100		18,300	-48,470	-43,370
	印刷製本費	269,628	607,548	-337,920		26,688	-242,940	-580,860
	専門部会活動費	0	7,780	-7,780		0	0	-7,780
管理費	人材育成経費	0	0	0		0	0	0
	賃借料	127,410	117,690	9,720		79,200	-48,210	-38,490
	地代家賃	230,000	240,000	-10,000	60,000	240,000	10,000	0
	借損料・役務費	97,845	54,610	43,235	30,000	61,680	-36,165	7,070
	消耗品費	99,795	177,196	-77,401		84,821	-14,974	-92,375
	通信運搬費	133,024	149,577	-16,553	15,000	98,786	-34,238	-50,791
	会議費	0	0	0		3,146	3,146	3,146
	光熱費	0	0	0		0	0	0
	雑費	100	100	0		0	-100	-100
	支払手数料	9,160	9,160	0	6,000	14,910	5,750	5,750
	諸会費	0	0	0		0	0	0
	租税公課	71,000	71,200	-200	71,000	71,000	0	-200
	税理士報酬	109,600	129,600	-20,000		121,000	11,400	-8,600
		費用計	3,287,010	3,692,509	-405,499	692,000	3,081,290	-205,720

<収支>	全事業	(前年度)	(差額)	全事業	全事業	全事業	全事業
	79,455	-19,234	98,689	1,594,000	-35,278	-114,733	-16,044

①

前年度繰越金	2,983,128
全事業収支合計	79,455
来年度繰入金	3,062,583

		ネット事務費用(追加)

②

全費用計(追加)	3,311,010
≧体収支(追加)	55,455